

2018年10-12月 リユースモバイル通信端末の買取／販売概況

——中古端末市場、堅調に成長

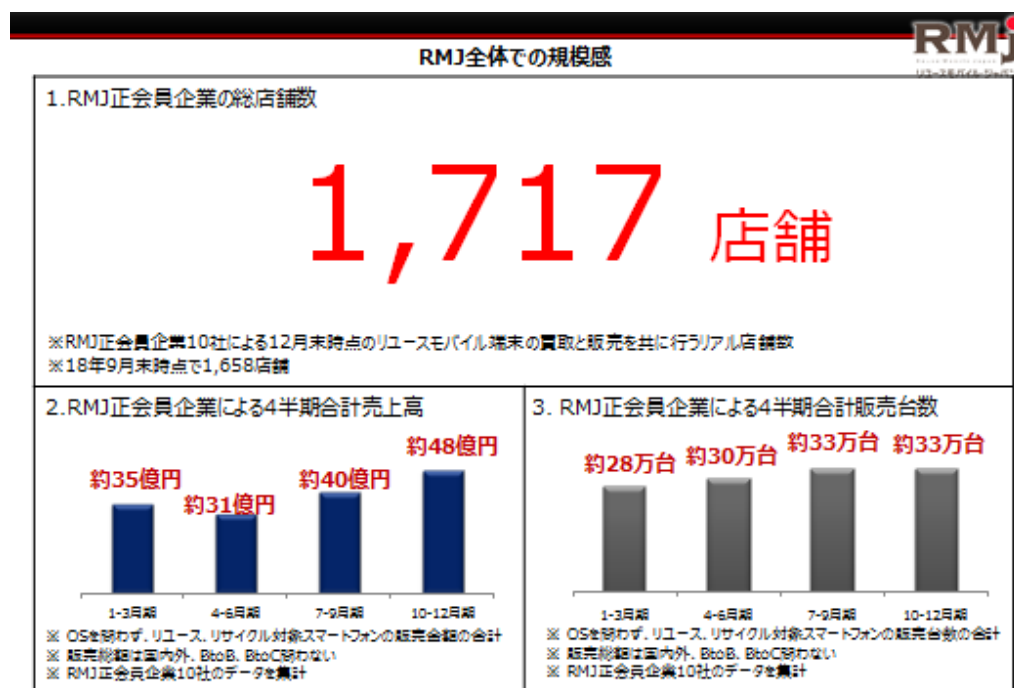
リユースモバイル通信端末（中古携帯電話端末）販売事業者の業界団体であるリユースモバイル・ジャパン（RMJ）は、2019年1月28日、2018年10-12月の四半期間に会員企業の店舗が消費者から買い取ったリユースモバイル通信端末の平均買取価格と買取台数の指数値、RMJ会員企業によるリユースモバイル事業の規模感についての調査結果をまとめた。調査対象のサンプルとしてアップル社が iPhone6以降に発売した iPhone、7機種と Android の6機種を取り上げた。

また今回の統計では上記端末の平均販売価格・販売台数の指数値についてもとりまとめた。

■ 10-12月期の合計売上高は約48億円

RMJ 会員企業 10社を合計したリユースモバイル事業の規模感を3つの観点でとりまとめた。これによると12月末時点のRMJ 会員企業全体での買取りと販売を共に行うリアル店舗数は全部で1,717店舗。リサイクルも含めたリユーススマートフォンの18年10-12月期の合計売上高は約48億円、合計販売台数は約33万台となった（図1）。

図1：RMJ 全体での規模感

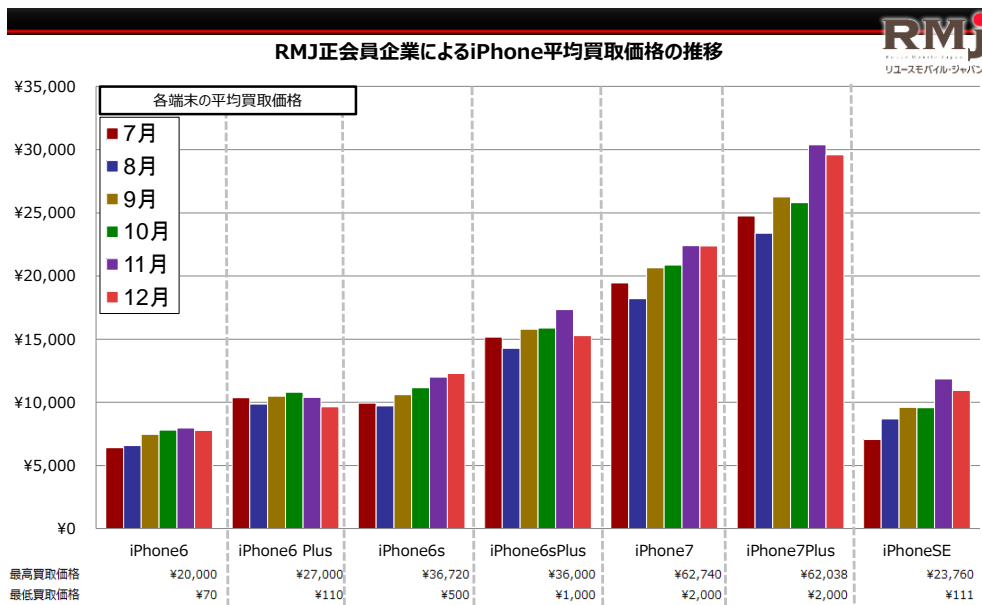


■ 11月は買取平均価格、台数ともに高値を記録。

RMJが平均買取価格と総買取台数の調査対象とした端末は、アップル社のものではiPhone 6以降に発売した再利用可能なリユースモバイル通信端末の7種類。台数については2018年4月時点を基準値とする指数値で表記している。

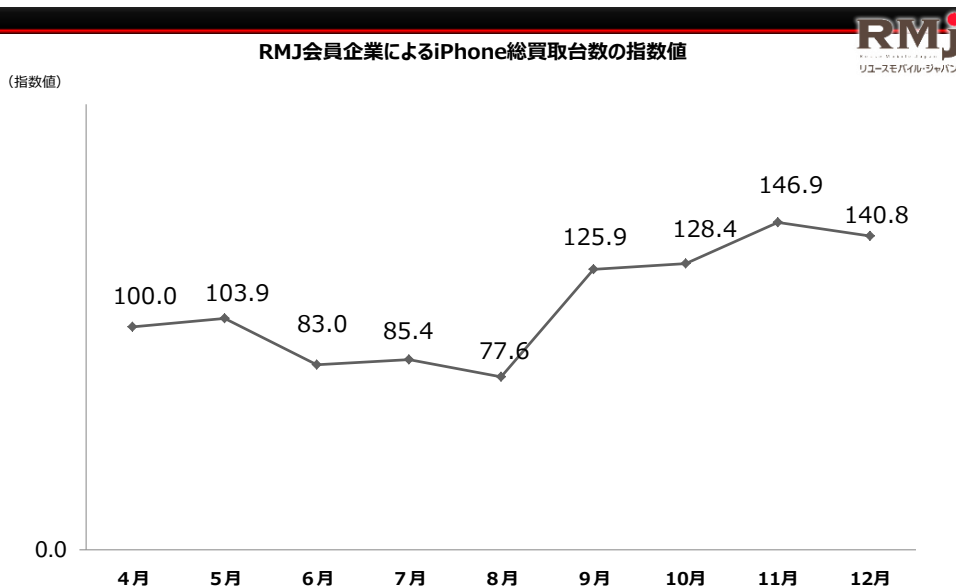
調査結果によると、RMJ会員企業10社が買い取ったリユースモバイル通信端末の買取平均価格は多くの端末が11月に高値をつけた(図2)。また買取台数の指数値についても今四半期は高値で推移。特に11月については2018年4月以降最高値を記録した(図3)。11月の買取平均価格と指数値の高値については年末商戦にむけておこなったキャンペーンの影響とみられる。

図2：RMJ正会員企業によるiPhone平均買取価格の推移



※ 店頭で個人から買い取った再生利用可能な端末を原則集計対象としているが、一部、修繕可能等の判断や業者間取引で買い取った低価格品が含まれることがある

図3：RMJ正会員企業によるiPhone買取台数指数値の推移



※ 店頭で個人から買い取った再生利用可能な端末を原則集計対象としているが、一部、修繕可能等の判断や業者間取引で買い取った低価格品が含まれることがある

※ アップル社のiPhone6以降の端末を対象としている。

※ 指数値は2018年4月を基準値とする

■一部 Android 端末買取台数、12月に下落

Androidの一部端末についても集計をおこなっている。調査対象とした端末はソニーモバイルコミュニケーションズ社のXperiaシリーズのうちZ5/X performance/XZsの3機種とSamsung社のGalaxyシリーズのうちS6 edge 64GB/S7 edge/S8の3機種。調査結果によると、RMJ会員企業が買い取ったリユースモバイル通信端末の平均買取価格は2018年10月-12月にかけて、Xperia XZs以外の端末では11月に高値をつけ、12月に下落する傾向がみられた(図4)。また、買取台数の指数値については11月まで順調に数値を伸ばしていたもの12月に大きく数字を落とした(図5)。

図4：RMJ正会員企業によるAndroid端末、買取概況

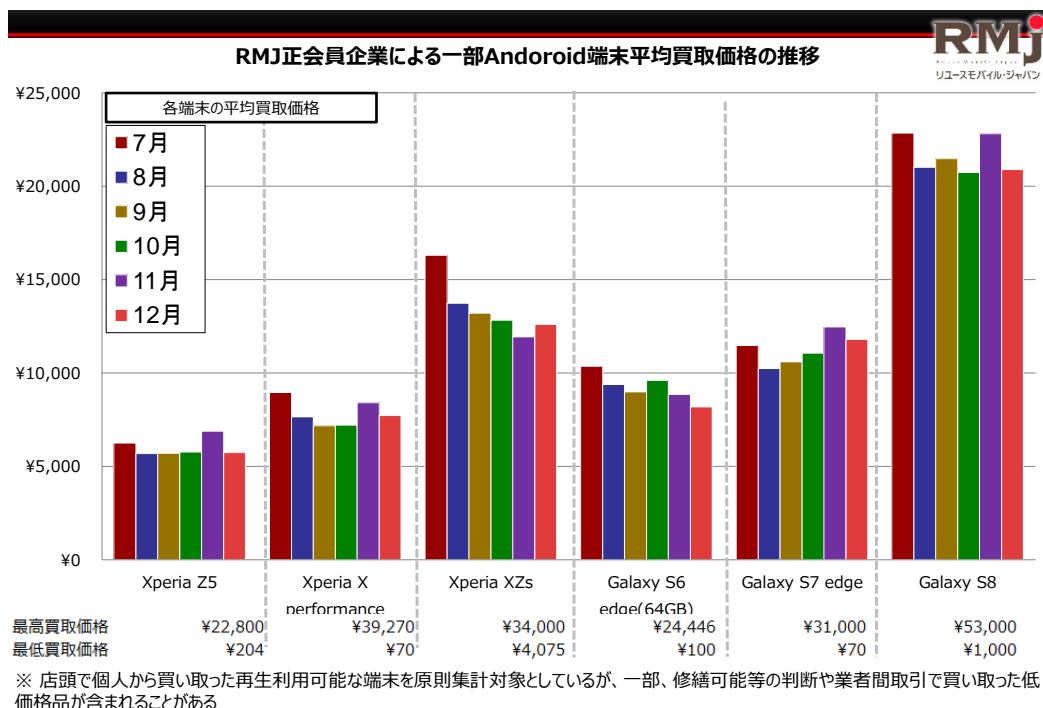
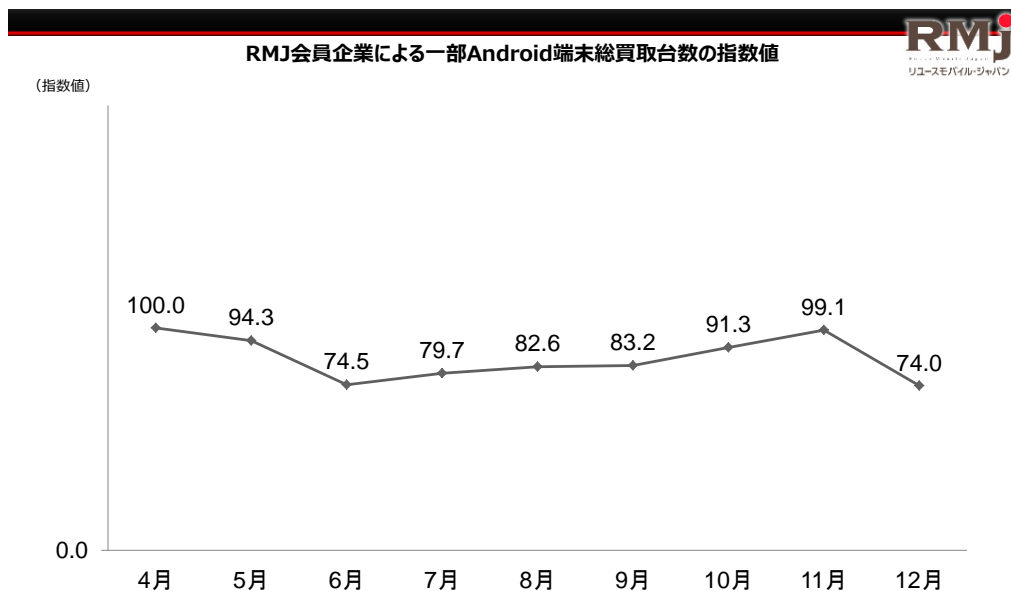


図5：RMJ正会員企業による一部Android端末買取台数指数値の推移



※ 店頭で個人から買い取った再生利用可能な端末を原則集計対象としているが、一部、修繕可能等の判断や業者間取引で買い取った低価格品が含まれることがある
 ※ 統計対象端末：ソニーモバイルコミュニケーションズ社のXperia(Z5、X performance、XZs)とSamsung社のGalaxy(S6 edge 64GB、S7 edge、S8)
 ※ 指数値は2018年4月を基準値とする

■ 12月はiPhone 端末販売量が大きく増加

今回の統計ではRMJ会員企業によるiPhone 端末販売についても調査結果をまとめた。これによるとiPhone の平均販売価格は今四半期では11月までは微増、12月は商戦期につき、他の月と比べて安値で取引する傾向がみられた(図6)。販売台数の指数値は10月は88.9ポイント、11月は86.1ポイントと4月と比べ取引量は控えめであったものの、12月は127.2ポイントと大きく取引量を伸ばした(図7)。

図6：RMJ正会員企業によるiPhone 平均販売価格の推移

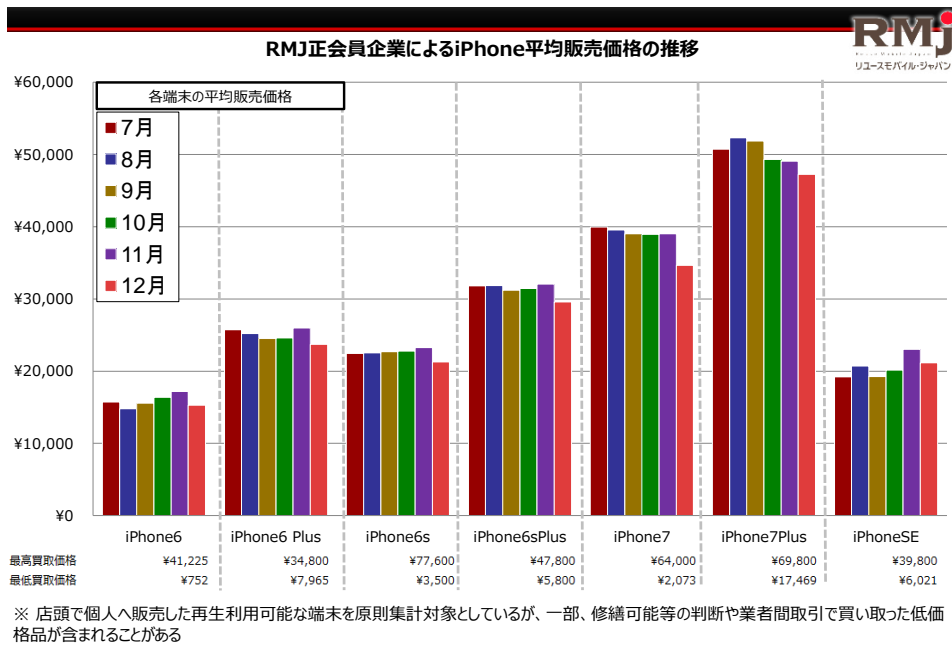
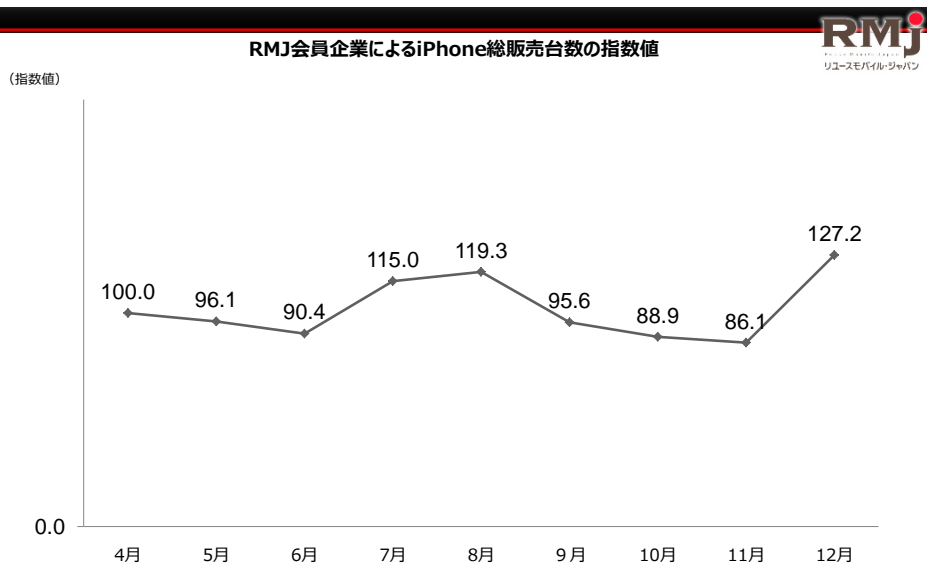


図7：RMJ正会員企業によるiPhone 販売台数指数値の推移



※ 店頭で個人へ販売した再生利用可能な端末を原則集計対象としているが、一部業者間取引で販売した製品が含まれることがある
 ※ アップル社のiPhone6以降の端末を対象としている。
 ※ 指数値は2018年4月を基準値とする

今後も RMJ ではリユースモバイル通信端末の市場動向を情報公開し、透明性のある健全な業界の育成をめざす。

統計対象製品について

正会員企業以上9社が、店頭で、個人から買い取った、再生利用可能な端末を原則として統計の対象としている。例えば再生可能との判断を「画面割れ」がないなどの条件で定義をしている。

しかし、集計の過程でやむを得ず、一部事業者間取引や、修繕等を前提として再生可能と判断し低価格で買い取った端末が含まれることがある。

団体概要

代表理事 株式会社携帯市場

副代表理事 株式会社 TSUTAYA

株式会社ゲオ

ブックオフコーポレーション株式会社（順不同）

理事 株式会社クリエージェンシー

株式会社パシフィックネット

日本テレホン株式会社

エコケー株式会社

株式会社ソフマップ（順不同）

正会員 株式会社パステック

リユースモバイル・ジャパン URL: <http://rm-j.jp/>

「iPhone」は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

「Galaxy」は、Samsung Electronics Co.,Ltd.の商標または登録商標です。

「Xperia」は、ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社の商標または登録商標です。

■ リリースについてのお問い合わせ先

事務局：後藤 凜子（ごとう りこ）

Tel：03-3526-2755

E-mail: info@rm-j.jp